

事業所名

放課後等デイサービス 育はぐ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

7年

3月

13日

法人（事業所）理念		共生・共育／共に学び、共に生きる					
支援方針		東洋医学に基づいた療育プログラム 運動・遊び・創作活動を通して感覚統合に繋げ、身体能力やコミュニケーション能力の向上を図る。 SSTや身辺自立、集団生活におけるマナーやルールを学び、将来に必要なスキルを身に付ける。					
営業時間		平日 祝・休校日	10時 8時	から 19時 17時	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	自立した生活を送れるようになるためのサポートや日常生活への動作など生活スキル能力の向上 ・健康状態の確認、手洗いやうがいの促し、定期的な排泄誘導及び水分補給の促し、食事の際のマナーの習得、おやつ選びや調理イベントを通して、多くの食品に触れることで好き嫌いの軽減に繋げる、荷物や玩具の片付けを促すことで身の回りの整容の学び、定期的な休憩時間を設けることで身体を休める意識に繋げる、場面場面での挨拶の習得。					
	運動・感覚	個々の発達段階に合わせたプログラムを実施し、活動を楽しみながら基本動作の向上や感覚への統合に繋げる ・粗大運動（サーキットトレーニング、鬼ごっこ、ボール遊び等）微細運動（掴む、引っ張る、捲る等）の実施、マッサージやストレッチなど身体に触れることで感覚を刺激し、身体の緩みや身体の歪みへのアプローチに繋げる、センサリーマットや調理イベント、工作活動を通じた五感への刺激を促し感覚統合へ繋げる。					
	認知・行動	スケジュールの理解や行動への切り替え、気持ちのスムーズな切り替えに繋げる ・ホワイトボード、イラスト、時計（デジタル時計含む）を使用し、スケジュールの視覚化、スケジュールやイベントの流れを予め伝える、切り替えの10分・5分前のタイミングにて声掛けやタイマー使用等、事前予告の徹底、カームダウンスペースを設置することで切り替えが困難な児童への意識・認識に繋げる。					
	言語 コミュニケーション	社会で共存していくためのコミュニケーションスキル能力の向上 ・挨拶や遊びの中で本人が感じている感覚や感情、訴えの言語化を促し体験と言葉の結びつきに繋げる、読み聞かせや文字遊びを通して様々な言葉に触れる機会の提供、指差しやジェスチャーなどの非言語コミュニケーションの活用、必要に応じて個別でのやり取り等、子どもの特性に合わせた環境を整えた上でのコミュニケーションに繋げる。					
	人間関係 社会性	社会や集団活動での「ルール」や「マナー」等、コミュニティスキルの向上 ・必要に応じて行動の振り返りを行い、自己理解に繋げる、相手の気持ちを代弁し、他者理解に繋げる、子ども同士での話し合いの場の提供、イベントでは外出活動を取り入れ、公共のルールやマナーを知る経験に繋げる、小集団での活動を通し、ルールの理解や適切な振る舞いの学びに繋げる。					
家族支援		ご家庭での困りごとに対する助言やサポート			移行支援	学校、関係機関との連携	
地域支援・地域連携		放課後等デイサービス連絡協議会への参加 スーパーや商業施設、公園や動物園、消防署見学等、地域の様々な場所への外出をイベントとして実施			職員の質の向上	定期的な内部研修開催、オンライン講座受講、外部研修受講 支援後・支援前のミーティング	
主な行事等		祝日・長期休暇など、学校休校日には様々なイベントを実施（買い物体験、調理体験、公園活動、映画鑑賞、外食、公的施設の見学や体験活動等） 災害意識に繋がる内容をイベントに盛り込み定期的な避難訓練の実施 行事イベント（花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・忘年会・初詣・豆まき等）					